

加工工程削減による低コスト化で受注拡大

事業計画名: 光学機器用カバーのシボリ工程削減による低コスト化の実現

【概要】

光学機器用カバー製造において、メーカーのコストダウン要望に応えるためには、工程削減が課題となっている。そこで、サーボプレス機を導入し、その性能を生かすプロセスを確立することで、工程数や金型の消耗等の改善を実施し、低コスト化を目指す。

取組のきっかけ

光学機器メーカーからのコストダウン要請に応えるためには、加工の工程数を削減することが課題となっていた。また、従来のプレス加工機では加工速度や加工力があらかじめ決められているため、熱の発生を抑える低速動作と高速動作を両立させることが難しく、コストダウンの阻害となっていた。そこで、1つの機械で工程をわけられ、複数の動きが可能となるサーボプレス機の導入を検討した。

事業の目標

1 工程の削減によるコストダウン

- ・サーボプレス機の導入や金型の消耗改善等により低コスト化で受注拡大を目指す。

具体的な内容とポイント

1 サーボプレス機の導入と特性の検証

- ・スライドの動き、速度、位置、加圧力などを別個に任意に制御可能なサーボプレス機を導入する。
- ・現存の金型を使用して抽出した条件を基に、精度・材料の伸び率等を検証する。

2 サーボプレス機の能力を生かす金型製作

- ・検証結果にもとづき、サーボプレス機の能力が生かされる金型の設計・製作を行う。

3 サーボプレス機による試作品の製作と評価

- ・スライドモーション・角度・加圧のタイミング設定を調整しながら、工程数や金型の消耗等の改善を行い、試作品を製作する。
- ・自社内での検査結果をメーカーにフィードバックしながら、メーカーの求める完成度を満たす工程を策定する。

株式会社カミテ

1988年に設立、金型製作を始め、現在は、プレス金型の設計製作及びプレス加工を一貫して行える企業で、主に医療機器部品を多数生産しており、常に新しい技術について研究開発を続けている。プレス最小肉厚0.08mm、鉄・ブリキ・ジンコート・ステンレス・アルミ・ステンレス、洋白、リン青銅をはじめとし、難加工材まで幅広く加工している。



代表取締役社長 上手 康弘
鹿角郡小坂町荒谷字三ツ森62-1
TEL: 0186-29-2611
FAX: 0186-29-2612
URL: <http://www.kamite.co.jp>
E-Mail: info@kamite.co.jp

■資本金: 6,000万円
■業種: 金属製品製造業
■従業員数: 38人

事業の成果

1 プレス加工工程の削減

- ・光学機器用カバー3工程から1工程への削減を実現した。
- ・通電加熱で材料を軟化しシボリの容易化を実現した。

2 納入先での試作品評価

- ・合格評価の認定を頂き、3部品について新規受注の目処がついた。



今後の展開

1 売上のさらなる拡大

- ・既存製品に加え、光学機器分野における新たな分野（モータカバーや内視鏡部品等）へ販路を拡げ、売上拡大につなげていく。
- ・5年以内に売上2000万円増を目指す。

【強み・特徴】

- ・ISO90001、ISO14001認証取得
- ・ソニー株式会社「グリーンパートナー」認定
- ・キヤノン株式会社「グリーンアクティビティ」認定
- ・仕事と生活を両立し、能力を発揮できるよう事業所内託児所をはじめとする様々な制度で、第1回「子供と家族を応援する日本」内閣総理大臣賞を受賞
- ・シャント抵抗器でグッドデザイン賞 受賞



事業所内託児所

【協力体制】

弘前大学: 共同研究を推進し、より高度な加工技術を開発し、新たな市場を開拓